

⑤北山自主防災組織(八頭町)

八頭町北山地区に住む243人、77世帯(4月現在)で組織する防災組織。年に2度は避難所開設運営訓練や避難訓練に取り組んでおり、昨年は「誰一人取り残さない」を合言葉に近隣住民の安否確認や避難支援を実施した。防災意識の向上を図り災害に強く住み続けられる街づくりのため、精力的に活動する。

同団体は2016年、災害時の避難などで要援護者を誰が支援するかを明示した「支え愛マップ」を作成



災害に強い共助の街づくり



防災訓練などで地域防災力の向上に努める防災組織メンバー

したことを機に、本格的に防災組織を編成。20年には非常持ち出し品リストや連絡体制などをまとめた「北山地区防災計画」を作成した。要支援者の個別避難計画や防災情報シート・避難状況調査票なども毎年更新し、役員経験者は防災士の資格取得に努めている。

近年では地域での運動会なども人手不足などの影響でなくなったため、避難訓練は同地区の住民が集う貴重な場所としても機能している。30日には今年の防災訓練を実施予定。同地区にはペットを飼っている人も多いことから、ペット同行の避難訓練とペットの防災講習会を初めて実施する。

地域を元気にするための県内の優れた地域づくり活動を表彰する2025年度ミラ・クル・とっとり運動・SDGs活動表彰の一般部門で優秀賞を受賞した。石塚立雄会長(73)は「これまでの活動が認められ、非常にうれしい。住民の生命を守り、住み続けていくために集落で助け合える関係をつくっていく」と話した。